

3月 臨時教育委員会会議録

- | | | | |
|---|-------|---|----------------------------|
| 1 | 日 時 | 平成 29 年 3 月 1 日 (水) | 午後 5 時 30 分から午後 6 時 35 分まで |
| 2 | 場 所 | 磐田市役所 西庁舎 3 階 | 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
杉本憲司委員 青島美子委員 田中さゆり委員 秋元富敏委員 | |
| 4 | 出席職員 | 教育部長 教育総務課長 学校教育課長 学府一体校推進室長 | |
| 5 | 傍 聴 人 | 0 人 | |

●各課から報告されたもの

(1) 学府一体校推進室

ながふじ学府一体校等整備基本構想（案）ができたので、説明をします。

まず、表紙を開いて、目次をご覧ください。全体の構成ですが、まず「はじめに」第 1 章で、「磐田市の教育」について、第 2 章で基本構想としてまとめてあります。そのあとに資料をつけて、全体で 126 ページとなりました。

それでは、1-1 ページを御覧ください。第 1 章の磐田市の教育では、最初に現在行われていまず小中一貫教育、続いて、次のページにコミュニティ・スクールについて、続いて先日研究会の報告を受けました「新時代の新たな学校づくり」に 1-6 ページまで載せてあります。1-7 ページには、「学府一体校整備の基本的な考え方」を載せました。下段の項目が、基本構想に反映させていくものです。

続いて、2-1 ページからは第 2 章の「基本構想」となります。まず、これまで検討会で話し合われたながふじ学府の方向性が 2-1 ページ。2-2、3 ページについては、「ながふじ向上型学府一体校の基本的な考え方」を 2 ページに渡って掲載しました。2-4、5 ページには、「建設場所」について、2-6 ページが「新校舎の規模」です。2-7 ページには、整備の基本方針を載せてあります。これは、1-7 ページの下段、5 つのことについて説明してあります。以前、定例教育委員会で話題になりました学年区分を見据えたゾーニングのことですが、本ページの (1) 学級数の変動に対応する多機能で柔軟な教育空間づくりの 4 点目に入れさせていただきました。ながふじ学府は、最初は 6-3 制でスタートしますが、将来的には 4-3-2 制や 5-4 制等への学年区分へ変更できるような構造にしていけたらと考えています。

続いて 2-8 ページからは、「主な必要諸室」として、(1)「諸室の整備で配慮すること」、2-9 ページからは、「主な諸室」において、設計する際の考え方、配慮事項等を載せました。これらは、検討会やワークショップにおいて地域や保護者の皆様、教員からいただいた意見を集約したものです。これらの中で特徴があるところは、地域に開かれた学校ということで、2-9 ページの図書室、2-11 ページの地域連携室、ランチルームを地域に開かれた部屋と考えています。2-13 ページの校庭・グラウンドの下から 2 行目に入れてありますが、公園的利用も兼ねた地域開放ゾーンです。また、磐田市は、英語学習にも、力を入れているということで、2-10 ページに教科教室型として外国語教室の設置も考えていきたいと思えます。

共同調理場は、ながふじ学府の 3 小中学校、幼稚園の給食調理場ということで考えていきます。

2-14 ページには、「構造・設備の基本方針」、2-15 ページには、「事業スケジュール」、2-16 ページからは、ながふじ学府新たな学校づくり検討会のことについて入れてあります。

資料編の方ですが、ながふじ学府3小中学校の沿革、通学区域、現況等、検討会で使用した資料、検討会議事録、中学生に行ったアンケート調査結果についてなどを入れてあります。ゾーニング案については、敷地の中でどのように建てたらよいかという案を入れてあります。検討会では4階建てを想定してイメージを考えましたが、設計会社にそれにこだわらずに新たな提案をいただきたいので、載せるのをやめました。あとは、検討会の議事録やワークショップで出た意見をまとめたもの、中学生のアンケート調査の結果を載せました。

お気づきのことがありましたら、来週3月8日に最終の検討会がありますので、それまでに教えていただければと思います。

<質疑・意見>

- ゾーニングの件で、学年区分が今後検討されていくと思いますが、異学年の交流を活発にすると共に、学年の区切りをある程度明確にすることが大切だと言ってきましたが、この案でいいのかなと思うのですが。
- 学年や学校の節目をハード面でどう表せるかという点だと思いますが、この案をもとにして、業者にプロポーザルという方法で提案をしてもらう予定です。
- 真ん中に共有スペースがあり両側に分かれていると、非常に明確だと思います。また用地に制限される設計になると思うので、あまり細かくする必要はありませんが、意識の中で配慮があればいいと思います。
- 豊田東小があり、いきなり学年区分を変えることが難しいということなので、将来的に学年区分を変えられる設計ができれば一番なんですけれど。
- とりあえずは、小学校と中学校の違いをある程度校舎の中で意識して設計していくように、業者に投げ掛けるわけですね。
- ゾーニング案も載せないのですか。
- ゾーニング案は載せてもいいと思います。ただし、注意書きとして決定ではないことを入れました。
- ワークショップで地域の方や保護者、教員が意見を出し合ったわけですが、その中で出た意見として、教室の数やプールの大きさなどの細かい要望もあるので、こちらも含めて考えてもらいたいと思います。とりあえず小学校と中学校が分かれています、いろいろなバリエーションを考えてもらえばと思います。専門的な提案をいただけることを期待しています。
- 次回3月23日の定例教育委員会で御審議いただきたいと思います。

●教育委員会が決定したもの

(1) 議案第9号 平成28年度末県費負担教職員人事異動の内申について

- 議案第9号「平成28年度末県費負担教職員人事異動の内申について」は、県費負担教職員の人事に関する議案ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、本議案に係る審査は非公開で行いたいと思いますが、御異議はございませんか。

<委員一同 異議なし>

- それでは、本議案に係る審議を非公開といたします。

(以下非公開)

- 議案第9号「平成28年度末県費負担教職員人事異動の内申について」は原案どおり承認しますので、報告いたします。